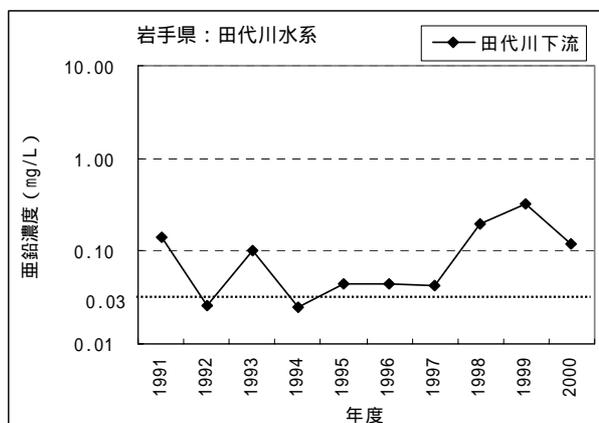
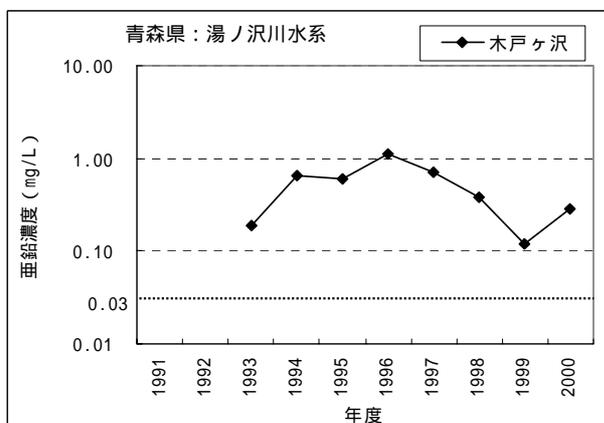
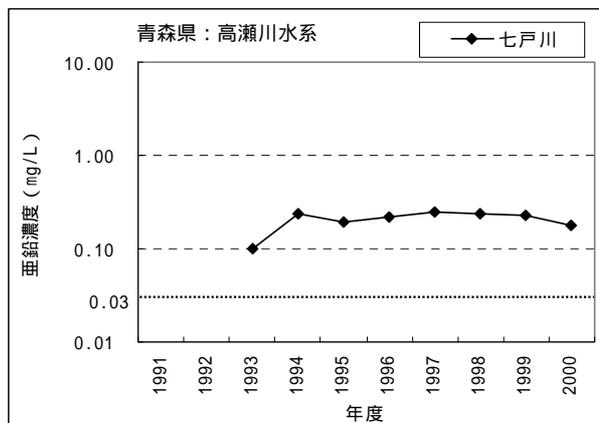
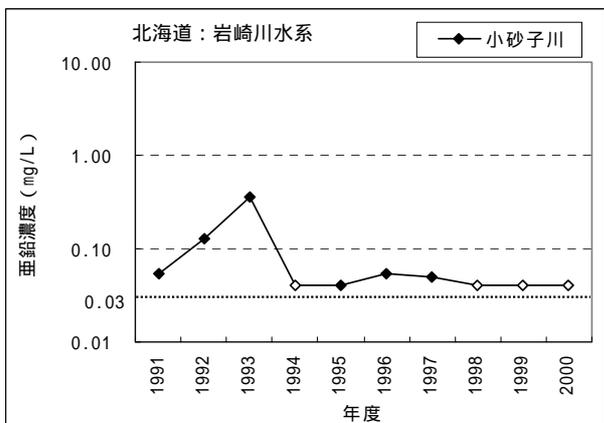
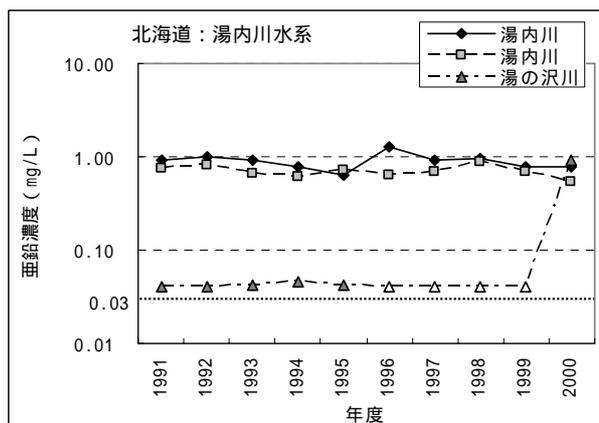
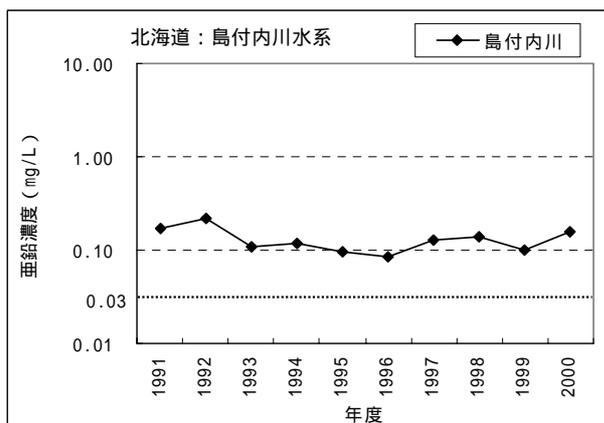
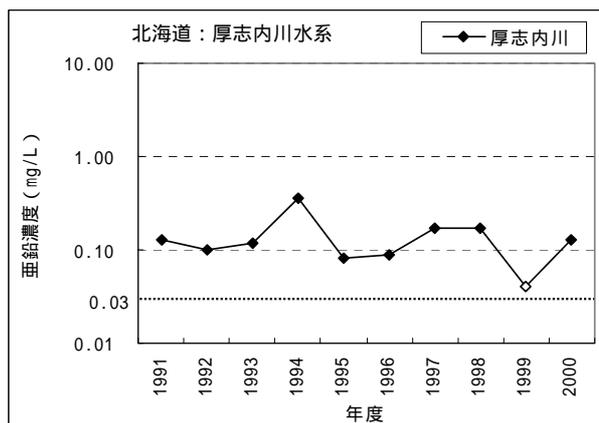
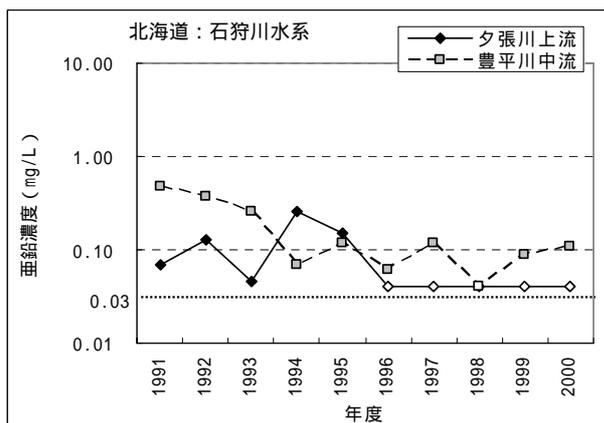


その他の事項

公共用水域における亜鉛濃度の経年変化

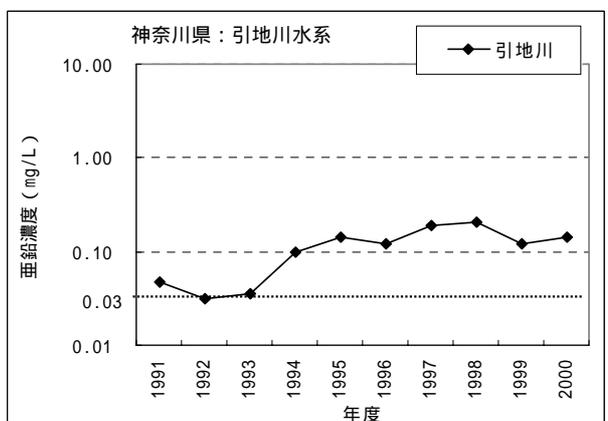
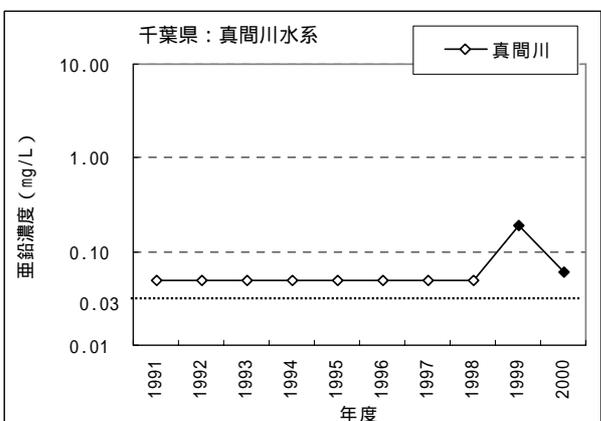
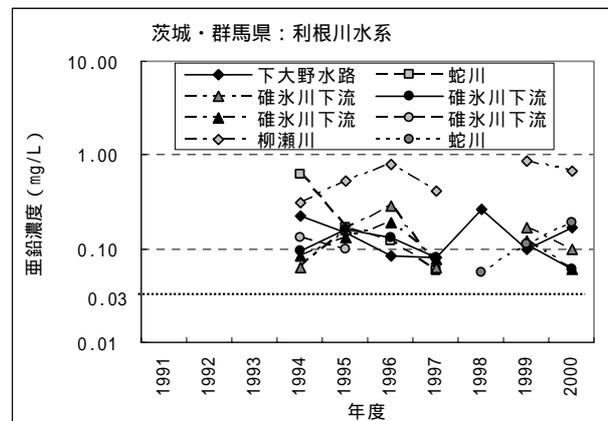
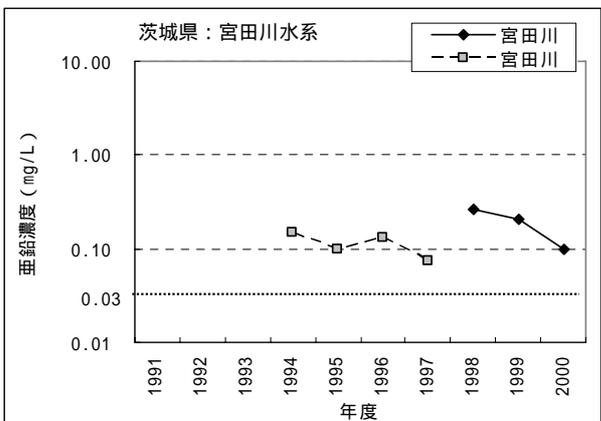
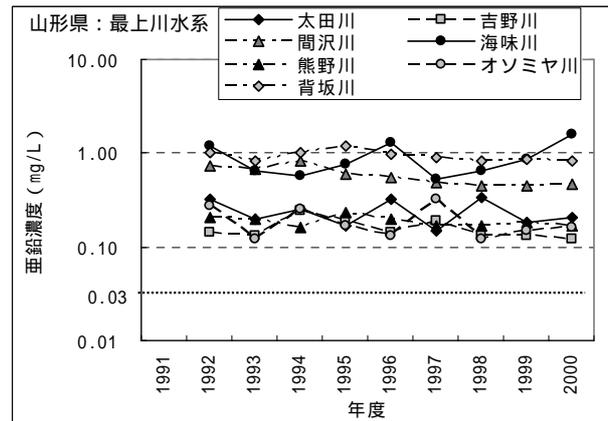
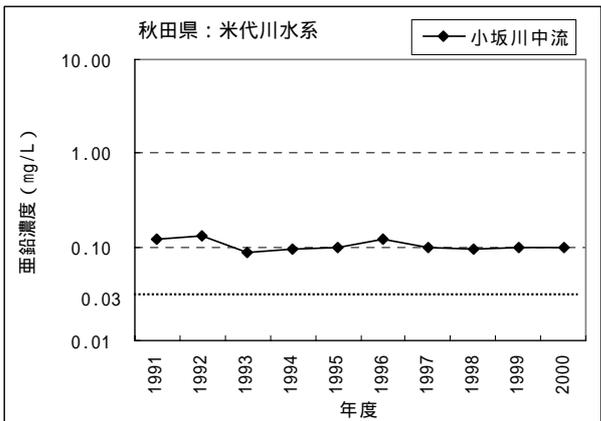
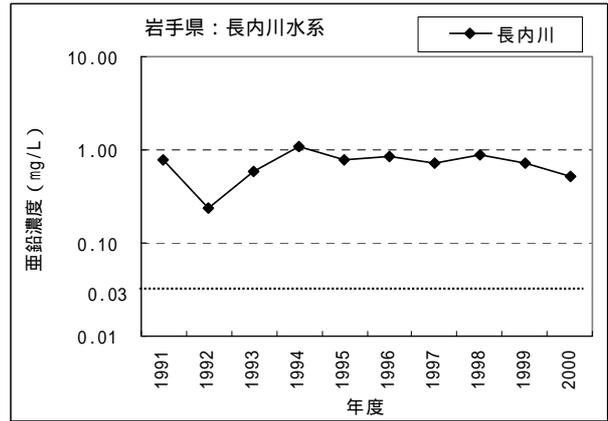
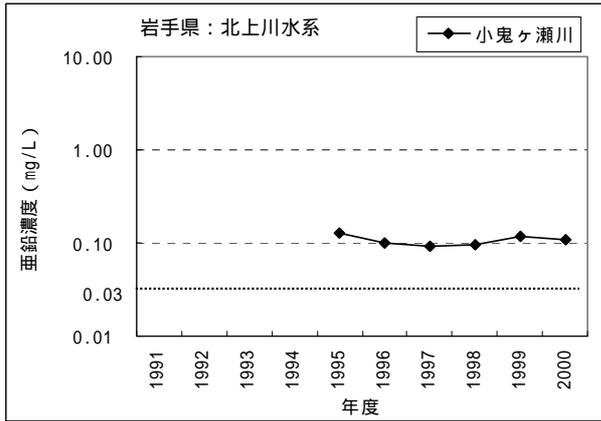
資料 3 - 5



注1．シンボルの白抜きは定量限界値未満の値 (ND) を示す。

注2．10年間 (常時監視：1991年～2000年、独自調査：1992年～2001年) の測定結果で、0.03mg/L 超過 (海域では0.02mg/L 超過) を複数年検出した地点のうち、平均値が0.1mg/L を超過したものに限定している。

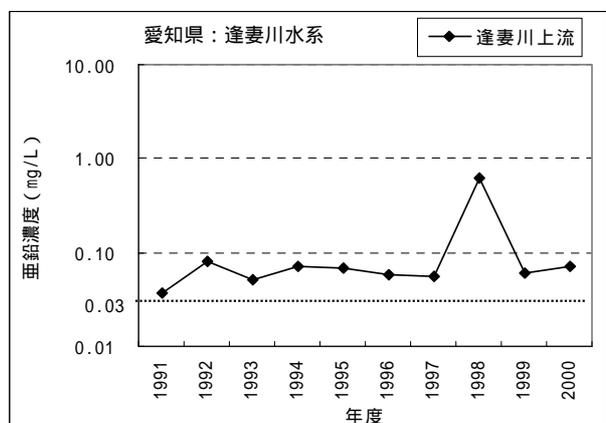
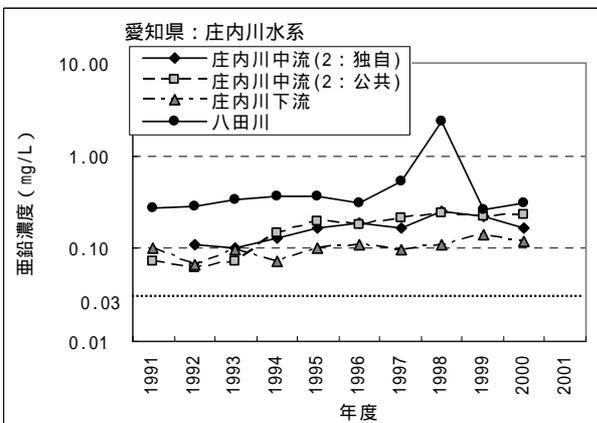
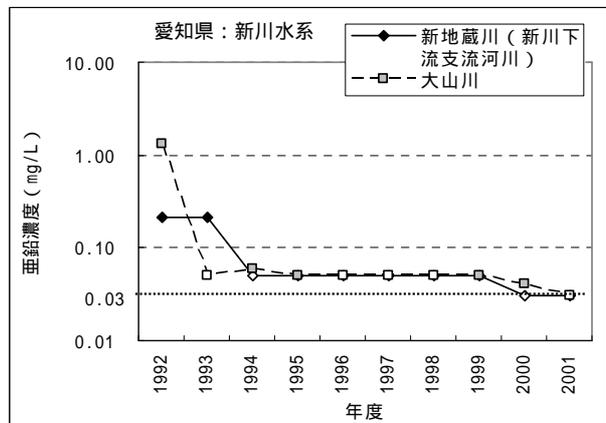
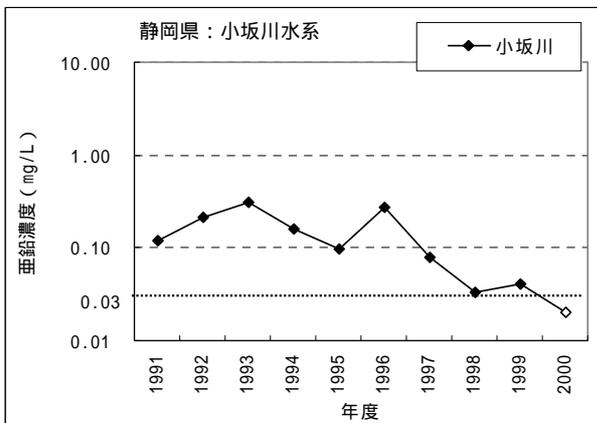
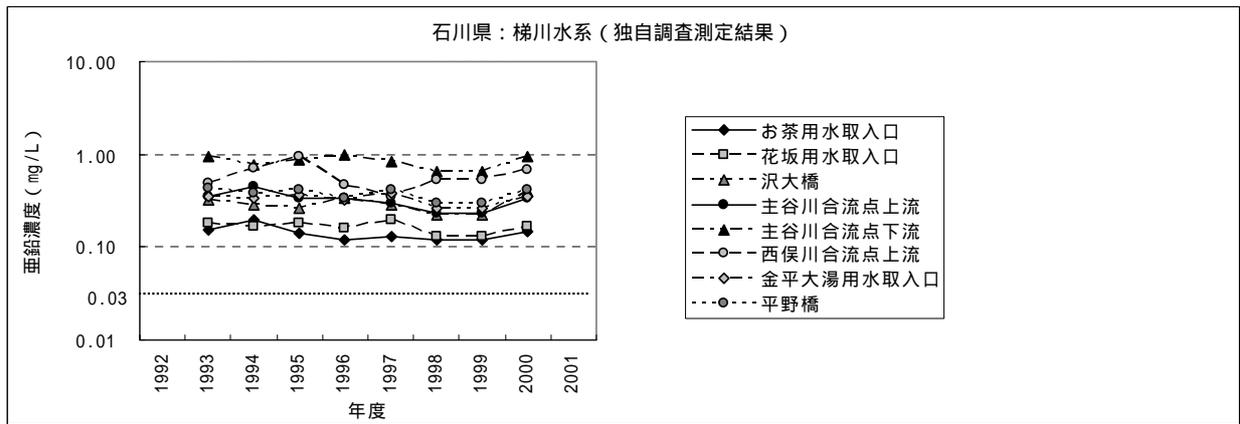
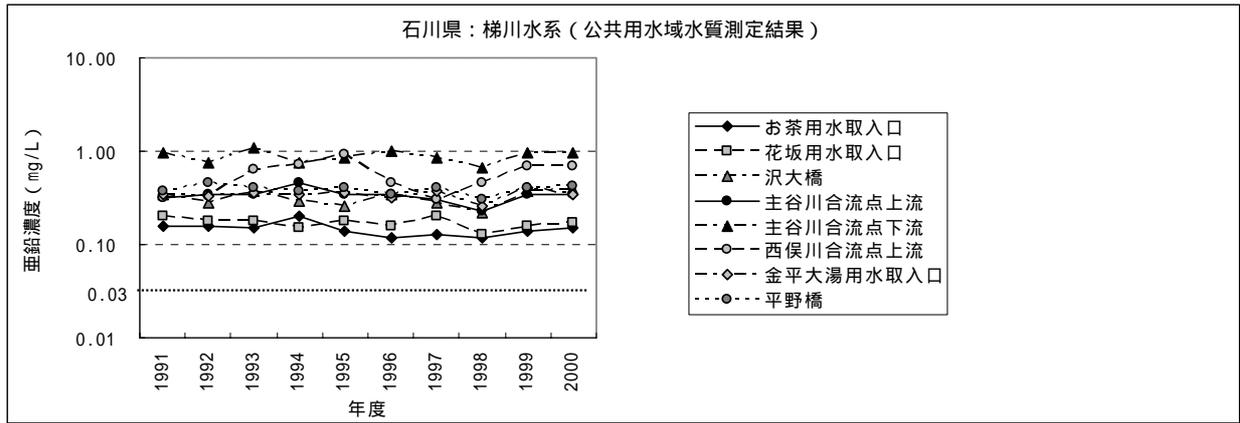
公共用水域における亜鉛濃度の経年変化



注1．シンボルの白抜きは定量限界値未満の値（ND）を示す。

注2．10年間（常時監視：1991年～2000年、独自調査：1992年～2001年）の測定結果で、0.03mg/L超過（海域では0.02mg/L超過）を複数年検出した地点のうち、平均値が0.1mg/Lを超過したものに限定している。

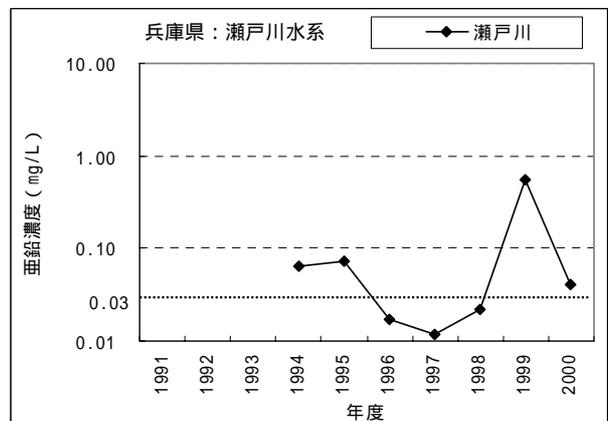
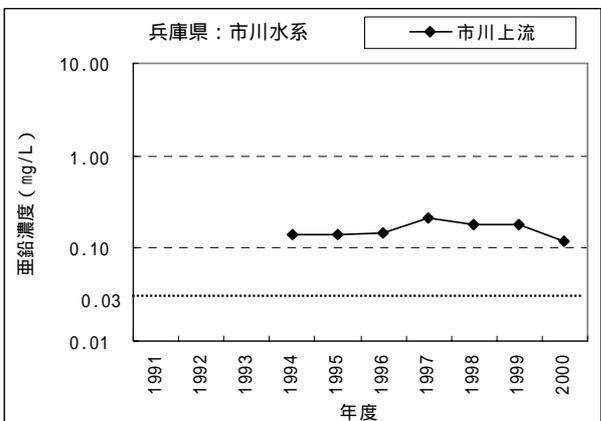
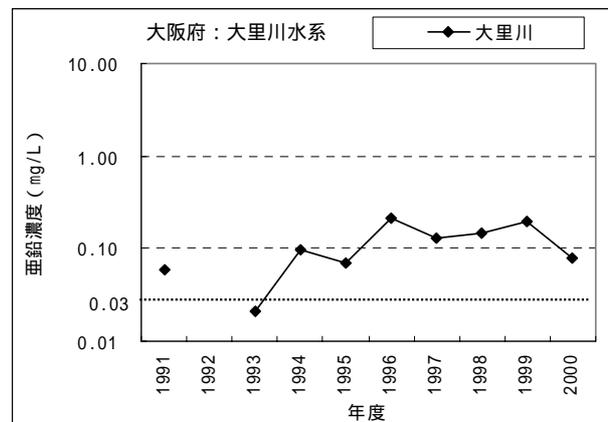
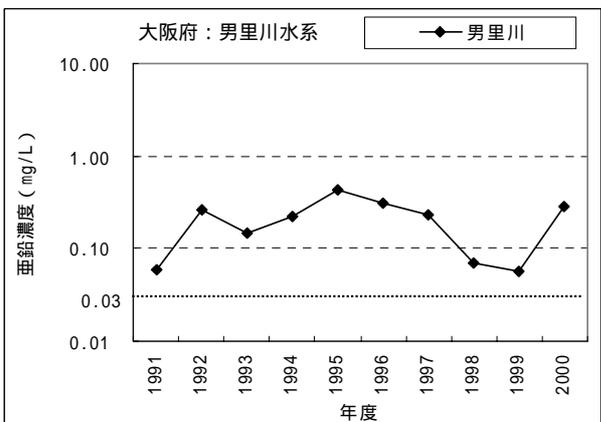
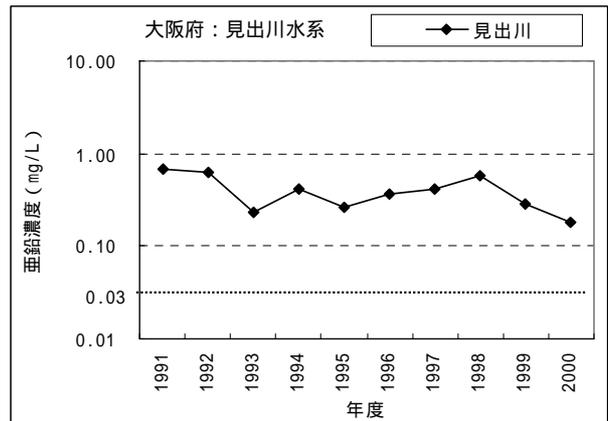
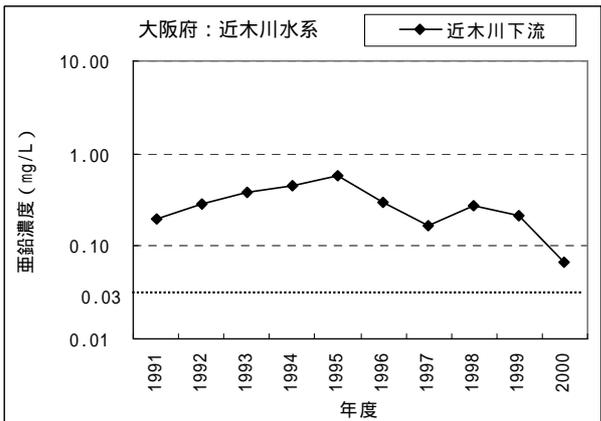
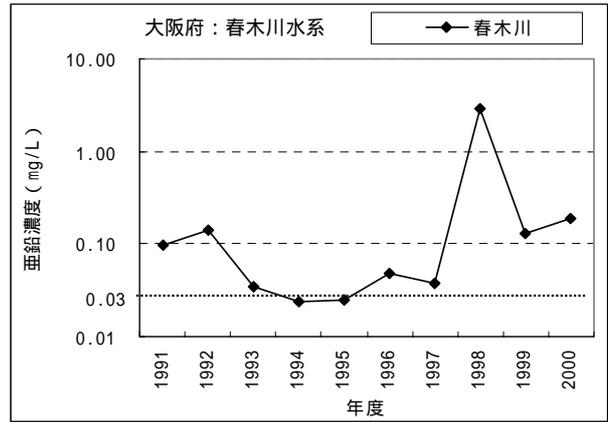
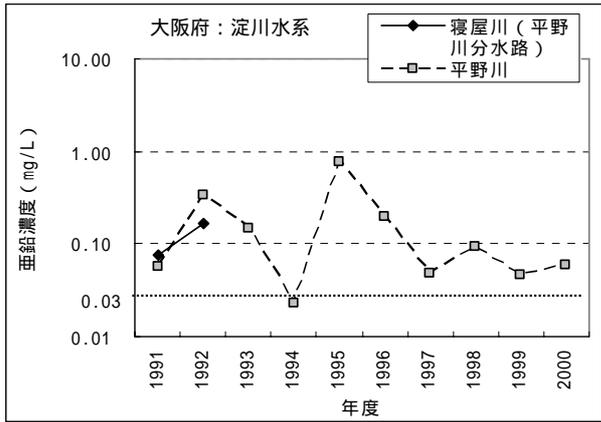
公共用水域における亜鉛濃度の経年変化



注1．シンボルの白抜きは定量限界値未満の値（ND）を示す。

注2．10年間（常時監視：1991年～2000年、独自調査：1992年～2001年）の測定結果で、0.03mg/L超過（海域では0.02mg/L超過）を複数年検出した地点のうち、平均値が0.1mg/Lを超過したものに限定している。

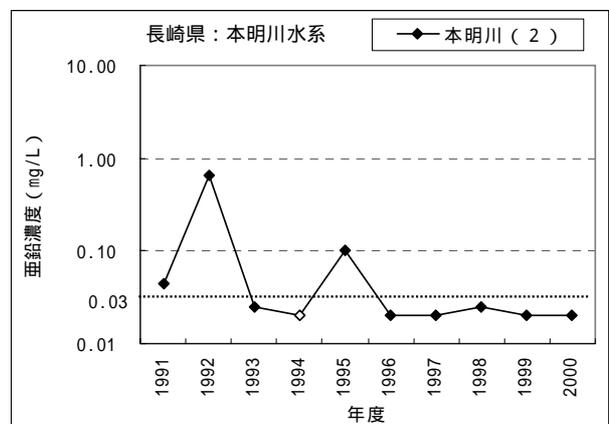
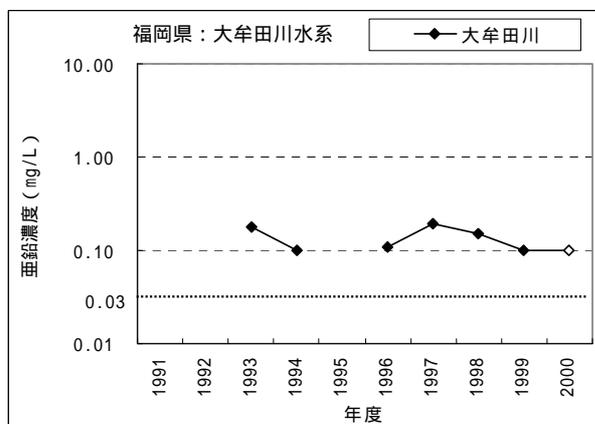
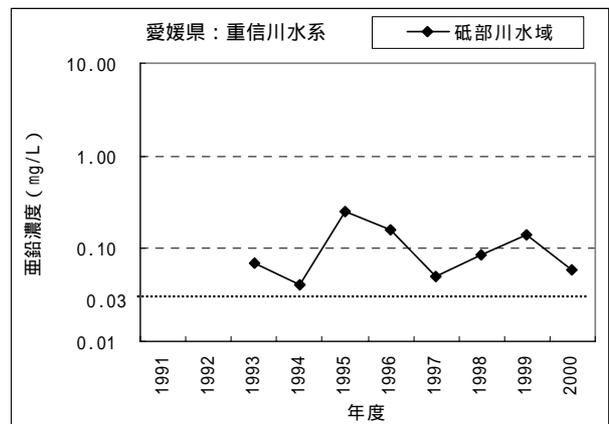
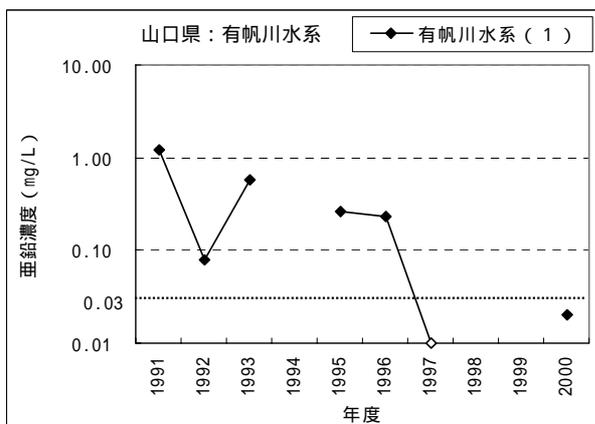
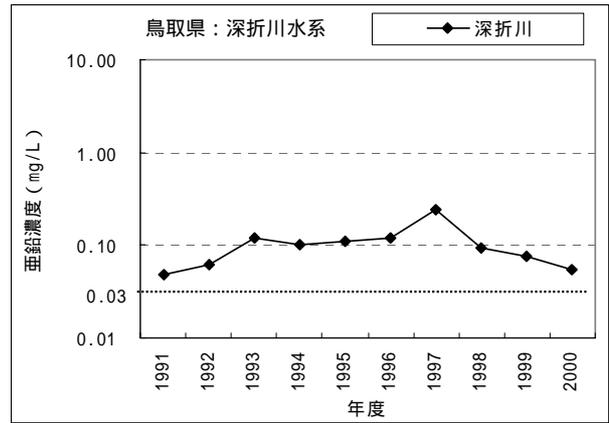
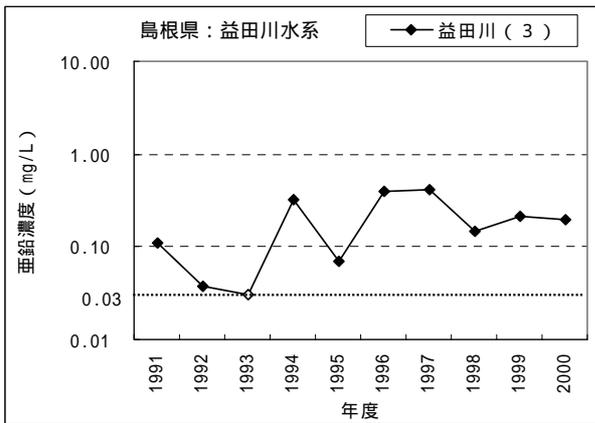
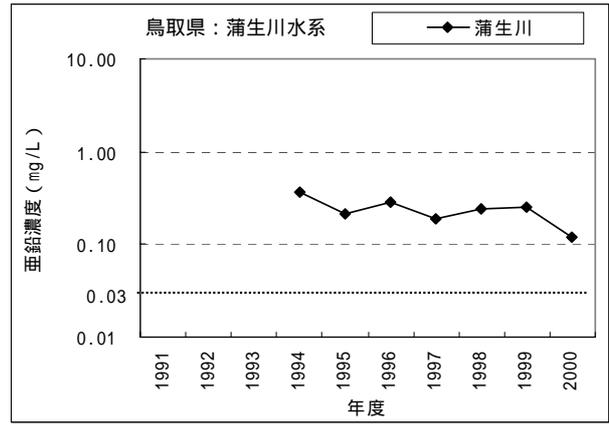
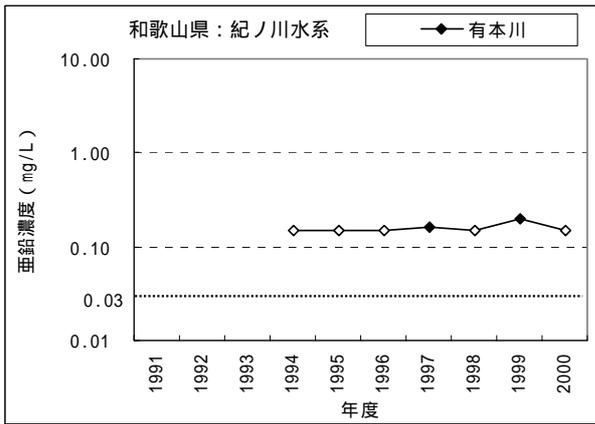
公共用水域における亜鉛濃度の経年変化



注1. シンボルの白抜きは定量限界値未満の値 (ND) を示す。

注2. 10年間 (常時監視：1991年～2000年、独自調査：1992年～2001年) の測定結果で、0.03mg/L 超過 (海域では0.02mg/L 超過) を複数年検出した地点のうち、平均値が0.1mg/L を超過したものに限定している。

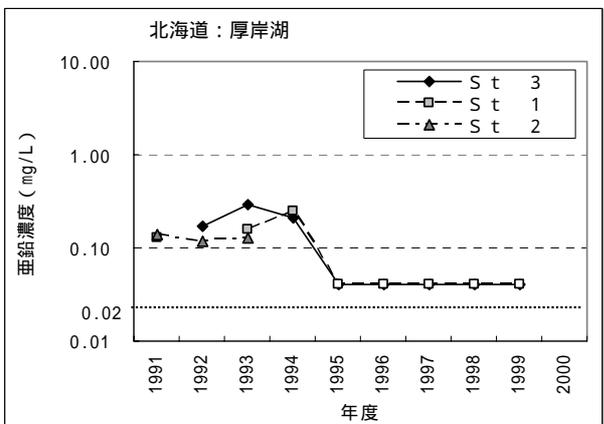
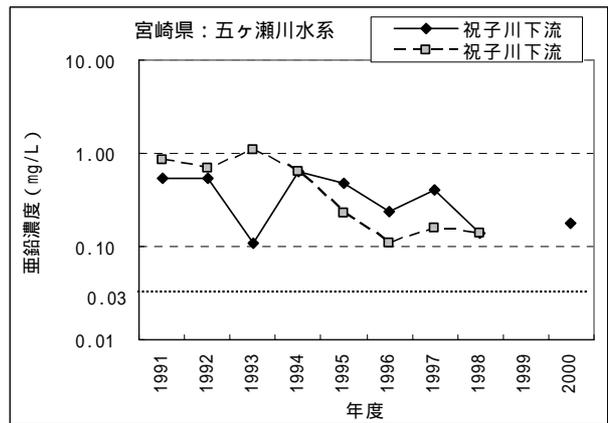
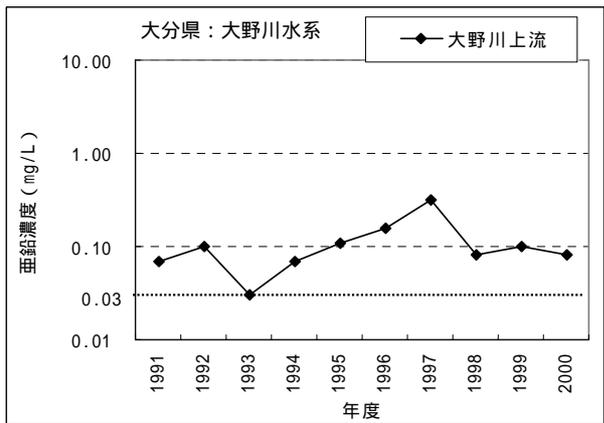
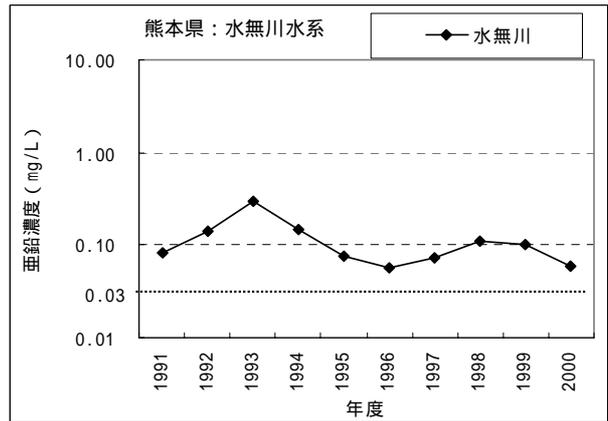
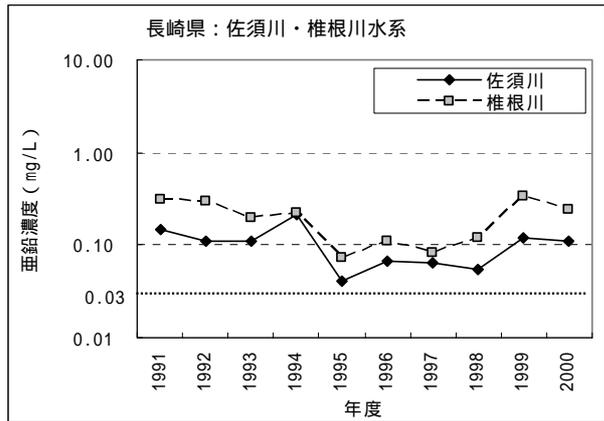
公共用水域における亜鉛濃度の経年変化



注1．シンボルの白抜きは定量限界値未満の値 (ND) を示す。

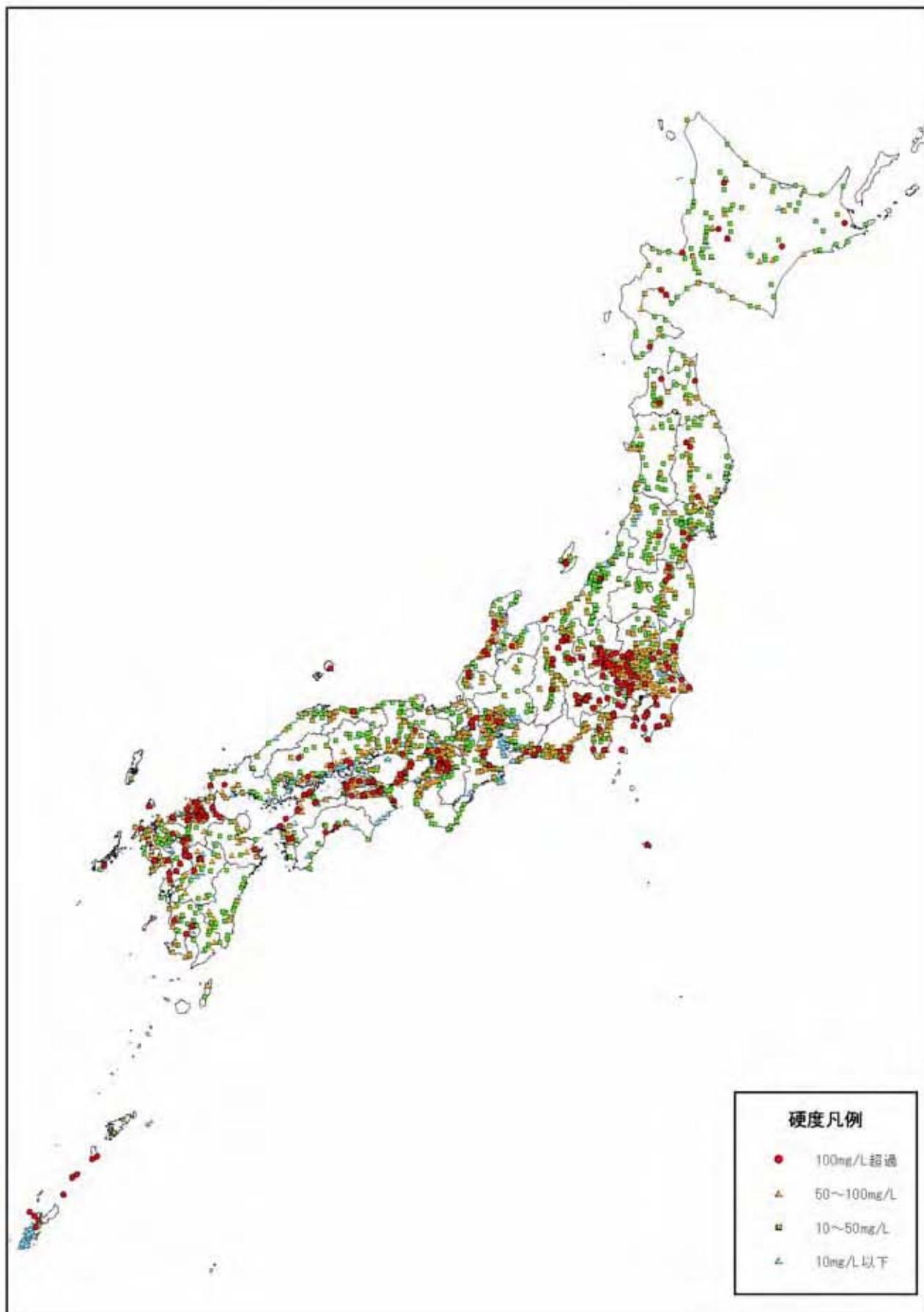
注2．10年間 (常時監視：1991年～2000年、独自調査：1992年～2001年) の測定結果で、0.03mg/L 超過 (海域では0.02mg/L 超過) を複数年検出した地点のうち、平均値が0.1mg/L を超過したものに限定している。

公共用水域における亜鉛濃度の経年変化



注1．シンボルの白抜きは定量限界値未満の値（ND）を示す。

注2．10年間（常時監視：1991年～2000年、独自調査：1992年～2001年）の測定結果で、0.03mg/L超過（海域では0.02mg/L超過）を複数年検出した地点のうち、平均値が0.1mg/Lを超過したものに限定している。



注：地図上の地点は、浄水場の位置に対応している。

公共用水域における農薬類の検出状況

(μg/L)

| 物質名 | 実施年度 * 2 | 検出数/検体数 | 検出範囲 | 検出限界 |
|----------|----------|---------|--------|------|
| マンゼブ * 1 | H10 | 0 / 747 | ND | 0.2 |
| ジネブ | H12 | 1 / 50 | ND~0.1 | 0.1 |
| ジラム | H10 | 0 / 747 | ND | 0.2 |
| | H12 | 1 / 25 | ND~0.2 | 0.1 |

* 1 検出状況はマンゼブ、マンネブ、ジネブをナトリウム塩にした後、誘導体化し含量したものを標記

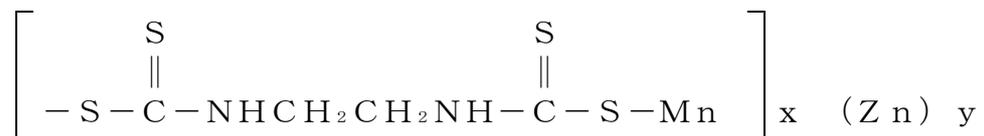
* 2 「環境ホルモン戦略 SPEED' 98 関連の農薬等の環境残留実態調査の結果について」(環境庁水質保全局土壌農薬課) 及び「平成 12 年度農薬の環境動態調査の結果について」(環境省環境管理局水環境部土壌環境課農薬環境管理室) から抜粋

(参考)

○マンゼブについて

N,N' -エチレンビス (ジチオカルバミン酸) マンガンと N,N' -エチレンビス (ジチオカルバミン酸) 亜鉛の錯化合物の別名

構造式



(参 考)

マンゼブについて
(化学物質ファクトシート2003年度版 環境省より抜粋)

- ・マンゼブは、果樹や野菜、花卉類などの病害防除に使われる殺菌剤です。一般的には水和剤として製品化されたものを、水で希釈して使用します。
- ・2002年度のPRTRデータでは、環境中への排出量は約2,900トンでした。ほとんどが農家から排出されたもので、ほとんどが土壌へ排出されました。

用途

マンゼブは1961年にアメリカで開発された、果樹や野菜などの病害防除に使われる殺菌剤です。水に溶けにくい粉末で、白色あるいは黄色を帯びた色をしています。一般的には、微粒子状のマンゼブに界面活性剤などを加えた水和剤として製品化されており、水に希釈させて使用します。日本では1964年に農薬登録がされています。

べと病、さび病、黒点病、黒星病、炭そ病、黒斑病、つる枯病など広範囲の病害の防除を目的として、りんご、ぶどう、なし、かき、かんきつ類などの果樹や、メロン、キュウリ、スイカ、キャベツ、ネギ、トマトなどの野菜、イモ類、マメ類、花卉類などの幅広い作物に適用されています。マンゼブ単独で使用されるほか、ほかの農薬と混合されて使用されることもあります。なおマンゼブの病害防除は、散布された薬剤が植物の表面を覆って皮膜をつくり、病原菌の侵入を防ぐことによるものであるため、一般に病原菌に感染する前に散布する方法がとられています。

排出

2002年度のPRTRデータによれば、約2,900トンが環境中へ排出されたと見積もられています。ほとんどが農家から排出されたもので、ほとんどが土壌へ排出されました。

| 排出量 (2002年度 PRTRデータ) | 環境排出量：約2,900トン | | 廃棄物への移動量：約0.3トン | | |
|----------------------------|----------------|-----|-----------------|-----|--|
| | 排出源の内訳(%) | | 排出先の内訳(%) | | |
| | 事業所(届出) | 0 | 大気 | 0 | 届出排出量構成比 (上位5業種、%) 全体の届出排出量が約 6kgのため省略します |
| | 事業所(届出外) | 0 | 公共用水域 | - | |
| | 非対象業種 | 100 | 土壌 | 100 | |
| | 移動体 | - | | - | |
| | 家庭 | - | (届出以外の排出量も含む) | | |

注) 排出量の内訳で「-」は排出量がないこと、「0」は排出量はあるが少ないことを表しています。

環境中での動き

環境中での動きについてはデータがありません。殺菌剤として果樹、野菜などに散布された後、土壌に吸着されるものと考えられます。土壌中では70日で半分の濃度になるとされています。また、水中では17時間で半分の濃度になるとされています。